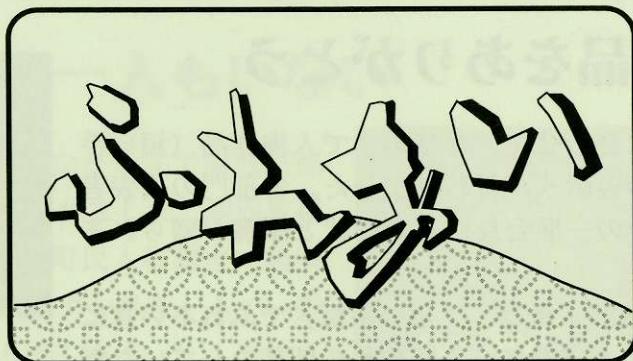


いろんな人と人とのつながり、
ふれあいを 美浜のMと波で
イメージしました。



第52号

発行:平成26年3月20日

編集:人権協広報調査部会
連絡先:美浜町生涯学習課

TEL 32-1212

FAX 32-1222

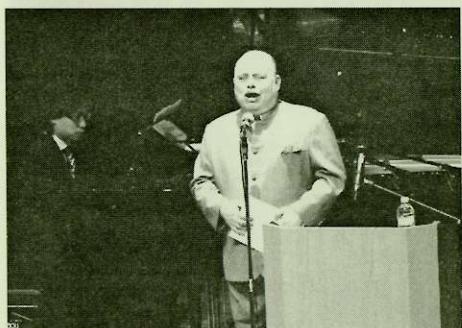
E-mail:jinkenkyo@town.fukui-mihama.lg.jp

速さはそれぞれ、進む方向が大切

人権週間のメインイベントとして毎年行われている「人権のつどい」が、12月7日になびあすホールで盛大に開催されました。

今年は、新垣勉さん(テノール歌手)をお迎えし、「みんなちがつこみんないい」と題した講演とコンサートが行われました。

全盲の新垣さんは、混血であることや両親の離婚により祖母に育てられた幼少期の体験等から、一時は自分の不幸を受け入れられず死を考えたこともあるそうです。しかし、さまざまな人の言葉に勇気づけられ、自分がマイナスに考えていたことをプラスに捉え、音楽への思いを貫いてテノール歌手となりました。



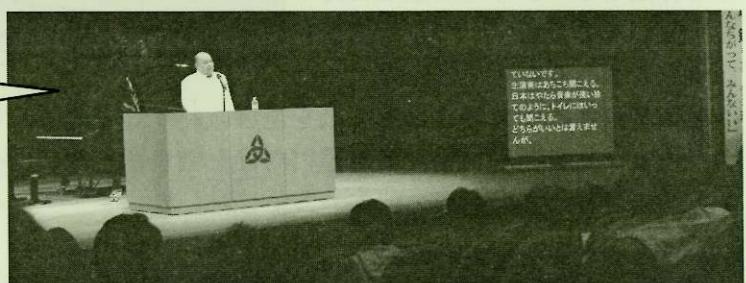
新垣さんは、「みんなと同じ速度で生活していないと不安を感じると思います。しかし、大事なのは個性。その人の進む方向が大事です」と話され、さらに、「この世の中で、人と比べることがいかに無駄なことか。その人にしかない輝いているものが必ずあるはずです。それをいかに磨いていくかが大切です」と明るい口調で語られました。

コンサートでは、新垣さんにしかない輝いている歌声を披露され、訪れた観客に大きな勇気と希望を与えてくれました。



人権のつどい2013
テノール歌手 新垣 勉さん

「暗いと不満を言うよりも、進んで
灯りをつけましょう。」
「差別と区別、区別して違いを大切
にして暮らしていく。」



生まれつき視覚障害で、どちらかと言えば落ちこんでいく人生の中で、先生にほめられた事により人生に生きがいを見いだした。人を褒めることにより、やる気を起こす事も大事だと思う。差別はあってはならないが能力により区別はある。自分を磨き、心の人格を磨くことも大事。

歌手だから目が見えないから音に魅せられるという単純な考えを持っていましたが、お話を聞いて、歌手だから見えないから、言葉と深く関わり、言葉(音)を通して人と深くつながり合っていることが強く感じられました。自分らしさ、その人らしさ(ちがい)を大切にしたいと思いました。コンサートもとてもよかったです。言葉が音楽にのり、歌い手の心を通って伝わると、いろいろな思いが心にまっすぐ届くので涙が出ました。ありがとうございました。

人は生まれながらにして平等ではない。法の下では平等と言いかながら、現実は生まれた国や地域も、親も親の収入も、兄弟の数も何もかもが違います。飲まされるもの食べさせられるものまで違って…。「みんな違つてみんないい」、結構残酷な現実を受け入れようという言葉かもしれませんね。

心あたたまる作品をありがとう

12月7日の人権のつどいに合わせて、なびあすで人権作品（短い手紙・絵・ポスター・写真）の表彰式が行われました。各部門の代表者に美浜町人権尊重啓発協議会の一瀬会長から表彰状と副賞が贈られました。



短い手紙（一般）ふれあい賞
佐田区 小坂 有美さん

表彰式終了後は、「短い手紙」でふれあい賞に入賞された方々に、入賞作品の朗読をしていただきました。家族や友人、地域の方々とのふれあいの中で、飾った言葉ではない、自然な言葉で綴られた作品に心温められました。



短い手紙（低学年）ふれあい賞
新庄小学校1年 久保 寛人さん

また、人権週間（12/3～10）に合わせて、12月4日から7日まで、同じくなびあすで人権作品の入賞作品ならびに人権啓発パネルなどの展示を行いました。

今年は、開放的なスペースに展示することができ、多くの方々にゆったりと作品を観ていただくことができました。

来年度も8月末から10月下旬まで作品募集を行う予定をしています。多くのみなさんのご応募をお待ちしております。

すべての入賞作品は、2月発行の作品集に掲載されておりますので、ぜひお読み下さい。

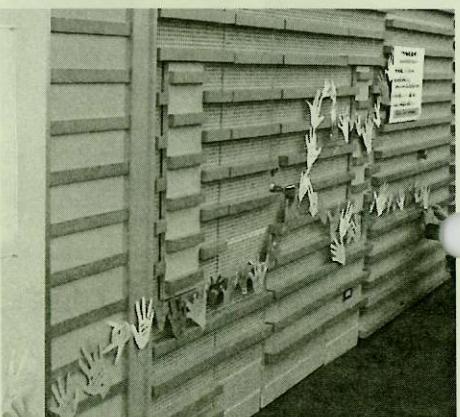


みんなの手と手をつなげよう

今まで美浜ナビフェス（以前は文化祭）で実施していた人権協コーナーを作品展示と並行して実施しました。

人権協コーナーに来ていただいた方が気軽に参加し、みんなで作り上げる作品として、今年は紙を自分の手形に切り抜き、メッセージを書いて手をつなげていく「つながる手」～みんなの手と手をつなげよう！～を実施しました。

参加者はそれぞれ好きな色の紙を選び、ハサミで苦労しながら手形を切り抜き、自分に、家族に、友達に向けたさまざまなメッセージを書いて、最後は長い長い手形の列ができました。



この手形の列のように、誰もが手をつなぎ、心をつなぐことのできる美浜町、互いに寄り添い支え合うことのできる美浜町になることを願っています。

参加していただいたみなさん、ご協力ありがとうございました。

みんなで笑顔あふれる住みよい美浜町をつくっていきましょう。

世の中に不良は一人もいない

2月2日、生涯学習センターなびあすで関西京都今村組のダンスライブが開催されました。関西京都今村組は、昨年10月の第5回町民人権講座で講演された今村克彦さんが主宰するダンスマネジメントチームで、美浜町での2度目の公演となりました。

このイベントは、今村さんが町民人権講座の中学生や教育関係者との交流の中から、美浜の若者たちを元気づけたいと思い開催されたものです。

ライブでは、今村組約400人のメンバーの中から精鋭50人が登場。YOSAKOIやヒップホップで一糸乱れぬ迫力あるパフォーマンスを披露し、観客を魅了しました。

また、ダンスの合間には今村さんがメンバーを紹介。メンバーの中には、学校や家庭で問題を抱えている子や、道を外してしまったいわゆる「不良」と呼ばれる子もいるとのことです。今村さんは、そういった子どもたちが今村組での経験を通して変わっていく様子を話し、「世の中に不良は一人もいない。大人が子どものことを信じ目標を与えてやれば、若者は変わっていく」と熱く語りました。様々な事情を抱えながらも、ステージ上で真剣に、そして楽しそうに踊る若者たちの姿は、子どもの持つ可能性と大人の責任、また今村さんの言う共育(共に育つということ)の大切さを実感させるものでした。



また、ライブでは、来場した美浜町の小中学生がダンスに参加する一幕もありました。緊張しながらも今村組と一緒にYOSAKOIを踊る姿に会場は盛り上りました。

「東北への思い」ありがとうございました

8月4日（日）に開催された第3回町民人権講座では、映画『遺体』を上映いたしました。大変たくさんの方にご来場いただき、映画を通して「命の尊厳」について改めて考えていただくことができました。

また、今回の講座では、ご来場の皆様に震災義援金のお願いをさせていただき、2回の上映で総額53,000円が集まりました。

いただいた義援金は、美浜町社会福祉協議会を通じて全額寄付させていただきました。

ご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

八月四日(日)町民人権講座(第3回)

彼らには、あるべき命の尊厳と向き合った人々がいた
田畠など、命の尊厳を直面した
悲しみの時間さえ無かつた

遺体
明日への十日間

監督：人見義樹 脚本：人見義樹・山口洋一
撮影：山口洋一 演出：人見義樹 音楽：山口洋一
音響：人見義樹 美術：人見義樹
衣装：人見義樹
撮影：人見義樹
音響：人見義樹
美術：人見義樹
衣装：人見義樹

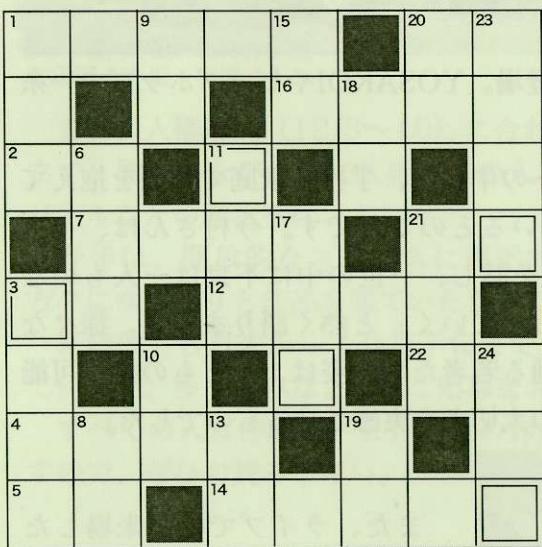
こえ 声 こえ

「ふれあい」第51号をお読みになった読者の方より、おたよりが寄せられましたので一部を紹介します。

高齢者がいるため、長時間家を空けることができないので、講演会は欠席しています。そのため、このたよりを楽しみにしています。ほんの一部でもふれることができてよかったです。 (河原市 Tさん)

人権を守るという事は、とても難しく、知らず知らず人を傷つけたりしている事もあると思います。これからもずっと考えていかなければならないテーマだと思います。 (新庄 Mさん)

以前テレビでも取り上げられた中村医師や立木早絵さんなど、全国的に有名な方を招いて頂いて、興味のある講演会が開催されているなと思いつつ、なかなか参加できていないので、また機会を見つけて参加していきたいと思います。 (佐田 Oさん)



ヨコのカギ

- 1: 味噌汁の丁寧な言い方。「御御御付け」と書きます。
- 2: 液体を専用の紙などを通して固体物を取り除くこと。
- 3: 日本の硬貨の5円玉にはコレの穂が描かれています。
- 4: 干しいもの生産量が日本一の都道府県は?
- 5: 2014年冬季オリンピックを開催した都市はどこ?
- 7: サイコロ2個を1回振った時の出た目のコレは7になります。
- 12: 物事に対してひどく腹立てること。
- 14: 歩行者等の安全のため道路の左側に設けられた帯状の道路のこと。
- 16: 一般的に日の丸弁当の赤い丸の部分にあたる食材は?
- 20: 地面を掘って水をためた所。
- 21: 直角より小さい角を鋭角といい、大きい角を○○角といいます。
- 22: 刀を握る部分のこと。

編 集 後 記

「目的を見つけたら強く生きていける。」「スピードの時代と言われるが、人生は速度よりも方向が大切。」
それぞれ町民人権講座講師の、今村克彦さん、新垣勉さんの言葉です。
これらの言葉は組織にとって最も大切なことだと思います。
広報の目的って何?
広報に何ができるか。

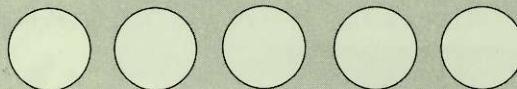
■応募方法■

- 答え・住所・氏名を別紙とじこみ用紙に書いて下記までお送り下さい。
〒919-1141 美浜町郷市29-3 美浜町生涯学習センターなびあす内 人権協事務局
- 〆切は、平成26年4月30日(水)です。
- 正解者の中から抽選で5名の方に、図書カードをお送りします。
- なお、前号の「人権クロスワード」の正解は、「よりそい」でした。当選者は次の皆様でした。おめでとうございます。

田辺 緑さん (郷市) 森久 利美さん (郷市)
木村 静香さん (興道寺) 山本 澄子さん (新庄)
武田 敏夫さん (久々子)

人権クロスワードパズル

二重ねくの中の文字を使ってできる言葉が答えです。



タテのカギ

- 1: 白と黒の二面の丸い駒を使った陣地取りゲームのこと。
- 3: うれしいことなどがあるて、動作がはずむ様子のこと。
- 6: 家屋や庭の周囲にある、竹や植木で出来ている囲いのこと。
- 8: 三昧線や琵琶の糸をはじく道具のこと。
- 9: 「祇園」「久遠」「平穏」の2文字目の漢字に共通する読みは?
- 10: 「タテ13」→「タテ18」→ギガ→○○→ペタ→エクサ
- 11: 物を切るための道具。ペーパー○○○、バタフライ○○○など。
- 13: 10の3乗を表す接頭詞のこと。
- 15: めったになく、とても珍しいこと。
- 17: 珍しい味の食べ物のこと。世界的に有名なのはキャビアやトリュフなど。
- 18: 「タテ13」→○○→ギガ→「タテ10」→ペタ→エクサ
- 19: 賞状や書画を室内に飾るために入れる枠のこと。
- 20: 皮膚の一部がふくらんだ突起のこと。
- 21: ケルン大聖堂やバベルクの町などの世界遺産がある国は?
- 23: 使用済みの切手に押されているもの。
- 24: 物事が変化して、ある結果になるまでの道筋のこと。

手段を目的に置き換えていないか。

人の心を動かし、行動を変えてもらえるような。

昨日よりも今日、今日よりも明日。

変わることを恐れず。

失敗を恐れない。

考へてもらうきっかけや問い合わせも。

うまく書けなくても、伝えようとする想いを込めて。

与えられた場所で花を咲かせる。

読者の皆さんと共に。

(恵)